



東京歯科大学千葉歯科医療センター

歯科医師臨床研修プログラム

Clinical Dentist Training Program



歯科医師臨床研修の概要

Memo

- 千葉歯科医療センターでは専門歯科医の育成を目的として、卒後臨床研修終了後の研修歯科医を対象に、後期研修、専門医研修を行う。

研修期間

1年間と3年間とし、希望する者は5年間とする。

1年目：前期研修（法定歯科医師臨床研修プログラム）

2・3年目：後期研修（認定医取得プログラム）*

4・5年目：専門医研修（専門医取得プログラム）*

オプションプログラムとなる

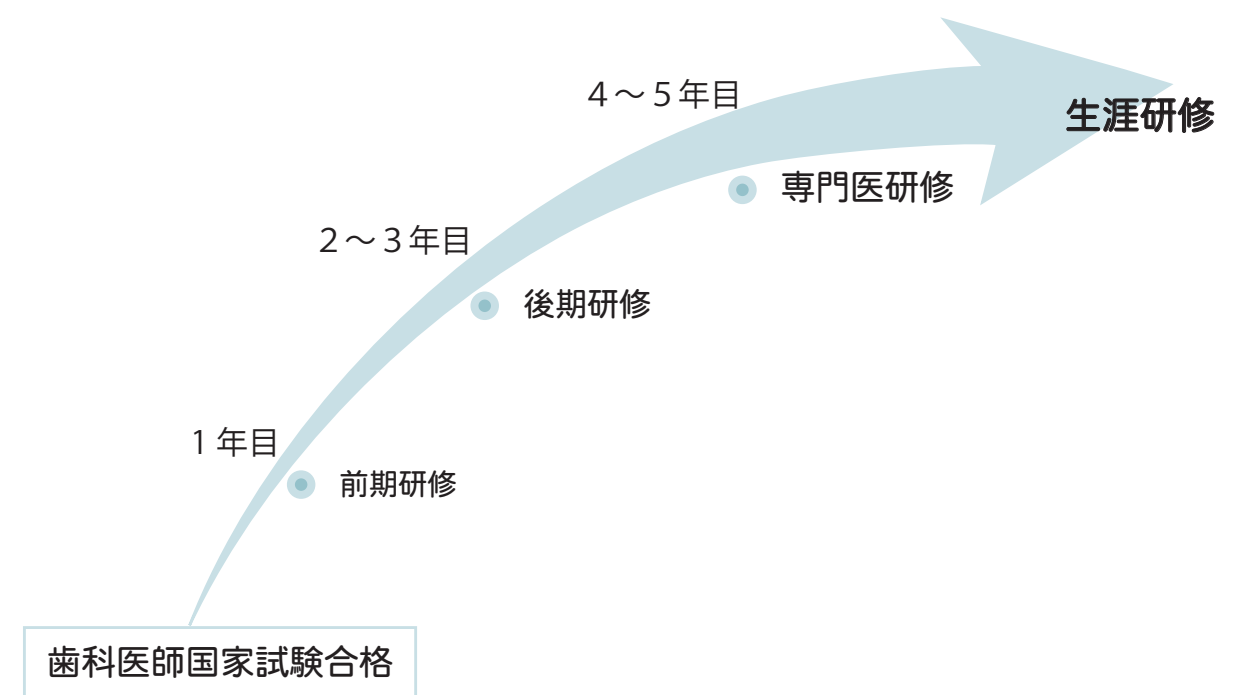
- 認定医・専門医取得可能な主な日本歯科医学会専門分科会
日本補綴歯科学会、日本老年歯科医学会、日本歯科保存学会、日本歯周病学会、日本有病者歯科医療学会など

身分・待遇

- 勤務時間は、9：00～17：00（平日）、9：00～13：00（土曜：土曜は指定定休制）とする。
- 研修医用宿舎は、50,000円とする。
- 後期研修および専門医研修者は千葉歯科医療センター職員（常勤）職とする。

キャリアパスの一例

	1年目	2年目	3年目	4年目～	6年目～
臨床研修 前期研修のみ	センターでの研修	・他施設での勤務 ・大学院入学			
臨床研修 後期研修まで	センターでの研修	・後期研修開始	・後期研修修了 ・認定医取得	・他施設での勤務	
臨床研修 専門医研修まで	センターでの研修	・後期研修開始	・後期研修修了 ・認定医取得	・専門医研修 ・専門医取得	・センター勤務 ・他施設での勤務



- 後期研修・専門医研修修了後に取得可能な認定医・専門医

- ・日本補綴歯科学会
- ・日本老年歯科医学会
- ・日本歯科保存学会
- ・日本歯周病学会
- ・日本有病者歯科医療学会 など

Memo

前期研修（法定の臨床研修）

- 歯科医師として全人的歯科医療を理解し、基本的な診療能力（態度、技能及び知識）を統合的に習熟する。さらに患者に信頼され社会に貢献できる資質の高い医療人を目指し、生涯研修を行う基礎を育成する。

GIO（一般目標）

歯科医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につける。

SB0s（行動目標）

A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

- ①社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。
- ②患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。
- ③患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。
- ④自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B. 資質・能力

I. 医学・医療における倫理性

- ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- ②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- ③臨床における倫理上の問題を明らかにし、分析、解決するために体系的なアプローチを行い、建設的に努力する。
- ④利益相反とその管理方針を具体的に述べ、対応できるようにする。
- ⑤診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。
- ⑥説明責任を果たす。

2. 歯科医療の質と安全の管理

- ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- ④歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- ⑤医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

- ①頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- ②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。
- ③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- ④高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。
- ④患者のトータルペイン（心理的・社会的背景、宗教等）に配慮する。

6. チーム医療の実践

- ①歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ②多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 社会における歯科医療の実践

- ①健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ②地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

8. 科学的探究

- ①医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ②科学研究方法を理解し、活用する。
- ③臨床研究や治験の意義を理解する。

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

- ①急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ②同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。
- ④症例に関するカンファレンスや学会等に参加する。

C. 基本的診療業務

I. 基本的診療能力

(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画

- ①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。
- ②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。
- ③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。

- ④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。

- ⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な口腔単位の診療計画を検討し、立案する。

- ⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。

(2) 基本的臨床技能

- ①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。
- ②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。
- ③基本的な応急処置を実践する。
- ④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。
- ⑤診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。
- ⑥医療事故の予防に関する基本的な対策を実践する。

(3) 患者管理

- ①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。
- ②患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
- ③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。
- ④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
- ⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。

(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供

- ①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理を実践する。
- ②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

- ③在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。
- ④障害を有する患者への対応を実践する。

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解

(1) 歯科専門職間の連携

- ①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に歯科衛生士と連携を図る。
- ②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
- ③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を説明する。

(2) 多職種連携、地域医療

- ①地域包括ケアシステムについて説明する。
- ②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。

(3) 地域保健

- ①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を説明する。
- ②保健所等における地域歯科保健活動を説明する。

(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

- ①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを説明する。
- ②医療保険制度に基づき保険診療を実践する。
- ③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

3. より専門的な診療能力

(1) 口腔外科

- ①外来診療における口腔外科小手術の基本的な処置を安全に実施する。

(2) 矯正歯科

- ①不正咬合患者の分析・診断・治療方針立案を実施する。
- ②不正咬合患者の矯正装置作製・装着を実施する。

(3) 小児歯科

- ①小児の成長による変化を踏まえ、個々の成長段階に最も適した口腔管理の方法を選択し実施する。

(4) 歯科麻酔科

- ①一般開業医などにおける、診断困難症例、対応困難症例に対し、診断、治療計画の立案、治療を実践する。

(5) 口腔インプラント科

- ①インプラント埋入手術の支援を実践する。
- ②インプラント上部構造作製の一連操作を実践する。

(6) 摂食嚥下リハビリテーション科

- ①在宅歯科医療において、嚥下内視鏡検査を含めた経口摂取の支援を実践する。

(7) 歯科放射線科

- ①様々な症例の画像診断を実施する。
- ②口内法、パノラマ撮影を実践する。

後期研修

- 歯科医師臨床研修 1 年間で修得した基本的な臨床能力を基礎に、包括的な歯科医療を提供できる、優れた歯科医師に必要な知識・技能・態度を身に付ける。

1 // 後期研修 // 医療管理コース

GIO（一般目標）

適切な診療報酬算定を行うために、医療保険制度に関する専門的な知識を身に付ける。

SB0s（行動目標）

適切な診療報酬算定を行う。

LS（方略）

- ・講義
- ・診療録作成

EV（評価）

- ・診療録作成 20 症例

2 // 後期研修 //

歯科保存学臨床専門コース

歯の疾患の治療に対し、より専門的治療を行うために、診察・検査・診断・治療の専門的知識、技能及び態度を身に付ける。

1) 歯周治療ユニット

GIO（一般目標）

歯周疾患の専門的な治療を行うために、歯周疾患に関する診察・検査・診断・治療及びメンテナンスの専門的知識、技能及び態度を身に付ける。

SB0s（行動目標）

- ・歯周外科手術を指導医のもとに行う。
- ・歯科衛生士と連携した歯周病安定期治療を行う。

LS（方略）

- ・外来診療
- ・豚顎を用いた歯周外科実習

EV（評価）

- ・観察記録 10 症例

2) 歯内治療ユニット

GIO（一般目標）

歯内疾患の専門的な治療を行うために、歯内疾患に関する診察・検査・診断・治療および予後について知識、技能及び態度を身に付ける。

SB0s（行動目標）

- ・エックス線画像および歯科用コーンビームCT画像を読影し患者へ説明する。
- ・外科的歯内治療を行う。

LS（方略）

- ・外来診療
- ・指導医の指導下で外科的歯内治療の実施

EV（評価）

観察記録 10 症例（大臼歯 1 例以上含む）

3) マイクロスコープを用いた歯内治療ユニット

GIO（一般目標）

歯内疾患の専門的な治療を行うために、マイクロスコープを用いた歯内疾患に関する診察・検査・診断・治療の知識、技能を修得する。

SB0s（行動目標）

- ・マイクロスコープを使用して根管治療を行う。
- ・マイクロスコープを使用して外科的歯内治療を行う。

LS（方略）

- ・指導医の指導下で根管治療の実施
- ・指導医の指導下で外科的歯内治療の実施

EV（評価）

- ・観察記録 3 症例

3 // 後期研修 //

歯科補綴学臨床専門コース

歯の欠損の治療に対し、より専門的な治療を行うために診察・検査・診断・治療の知識、技能及び態度を身に付ける。

1) 歯冠補綴ユニット

GIO（一般目標）

失われた口腔の諸機能に対し、歯冠補綴装置を用いて専門的な治療を行うための診察・検査・診断・治療の知識、技能及び態度を身に付ける。

SB0s（行動目標）

- ・適切な支台歯形態を付与して治療を行う。
- ・適切なプロビジョナルレストレーションを作製する。
- ・口腔内スキャナーを用いた印象採得を行う。

LS（方略）

- ・全部金属冠
- ・レジン前装冠
- ・陶材焼付冠
- ・オールセラミッククラウン
- ・3ユニット以上のブリッジ

EV（評価）

- ・観察記録 12 症例
(全部金属冠 2 例・レジン前装冠 2 例・ブリッジ 1 例以上含む)

2) 有床義歯ユニット

GIO（一般目標）

歯列の部分的または全部欠損症例に対し補綴装置を用いて専門的な治療を行うための診察・検査・診断・治療の専門的知識、技能及び態度を身に付ける。

SB0s（行動目標）

- ・金属床義歯のフレーム設計し治療を行う。
- ・アタッチメントを利用した可撤性義歯の治療を行う。

LS（方略）

- ・片側性遊離端義歯
- ・両側性遊離端義歯
- ・総義歯
- ・金属床義歯
- ・アタッチメント義歯

EV（評価）

- ・観察記録 5 症例
(総義歯 1 例、両側遊離端義歯 1 例、片側遊離端義歯 1 例を含む)

4 // 後期研修 //

老年歯科医学臨床専門コース

高齢者に対し、口腔機能、咀嚼嚥下機能、摂食嚥下リハビリテーション及び栄養指導を行うために、より専門的な診察・検査・診断・治療の知識、技能及び態度を身に付ける。

1) 摂食・嚥下障害ユニット

GIO（一般目標）

摂食・嚥下障害患者の治療を行うため、摂食・嚥下機能評価を修得する。

SB0s（行動目標）

- ・ビデオ嚥下造影検査を行う。
- ・嚥下内視鏡検査を行う。

LS（方略）

- ・外来診療

EV（評価）

- ・観察記録Ⅰ症例

2) 口腔健康管理ユニット

GIO（一般目標）

高齢者の歯科治療を行うため、口腔機能精密検査や口腔健康管理について修得する。

SB0s（行動目標）

- ・口腔機能精密検査を行う。
- ・口腔機能管理を行う。

LS（方略）

- ・外来診療

EV（評価）

- ・観察記録Ⅴ症例

5 // 後期研修 //

全身管理学臨床専門コース

GIO（一般目標）

安全な歯科医療を行うために、バイタルサインの観察、救急蘇生法、および患者管理についての知識と技能を修得する。

SB0s（行動目標）

- ・生体情報モニタ下にて治療を行う。
- ・救急蘇生法を行う。

LS（方略）

- ・講義
- ・マネキン実習
- ・外来診療

EV（評価）

- ・観察記録Ⅰ症例

// 後期研修 //

6 口腔外科学臨床専門コース

GI0（一般目標）

口腔外科領域（抜歯・炎症・嚢胞・腫瘍など）の外科的手術を行うため、手術手技の技能を修得する。

SB0s（行動目標）

- ・埋伏智歯の抜去を行う。
- ・小手術を行う。

LS（方略）

- ・埋伏智歯抜去
- ・小手術
- ・外来診療

EV（評価）

- ・観察記録5症例（埋伏智歯1例・小手術1例以上含む）

専門医研修

- 各専門診療において一般的診療をさらにステップアップさせ、先進的技術を含めた専門的歯科医療の研修を行い、専門医取得に必要な知識・技能を修得する。

GI0（一般目標）

専門医取得を行うために、専門的な知識及び技能を身に付ける。

SB0s（行動目標）

- ・日本補綴歯科学会、日本老年歯科医学会、日本歯科保存学会、日本歯周病学会、日本有病者歯科医療学会などの専門医取得を行う。

LS（方略）

- ・外来診療
- ・症例報告
- ・学会発表

EV（評価）

- ・ポートフォリオ

